

授業構想シート（小学校３年算数科）【単元名】「重さ」（１時間／全８時間）

■本単元のねらい

- ・ ものを持ち上げる活動や、目的に応じて適切に重さの見積もりをしたり計器を選んだりする活動を通して、重さについて理解し、その普遍単位を知り、計器を用いて測定できるようにする。

学習指導要領解説や北九州スタンダードカリキュラム等を参考に設定。

<本時のねらい> ※ めざす子どもの姿

- 基準量の幾つ分の考えを基に、重さの測定の仕方や単位を用いた表し方を考えることができるようにする。

評価規準を基に設定。

【まとめ】 ※ <ねらい>を子どもの言葉で

重さも、「同じもののいくつ分」で表すと、くらべやすい。

<ねらい>と一致した「まとめ」になっているか。

【めあて】 ※ まとめとの整合性 子どもの言葉で

天びんを使って、どちらがどれだけ重いかくらべる方法を考えよう。

「まとめ」に向かう「めあて」になっているか。

【めあて】を生み出す働きかけ

- ・ 重さの近い三角定規とペンを提示し、どちらが重いかを問いかける。

【追究する活動や働きかけ】主体的・対話的な学び

- 身の回りにある文房具を両手に持ち、「どちら」が重いか、判断する活動をする。
- 三角定規とペンのどちらがどれだけ重いかについて、天秤を使って調べる方法を考える。
- 三角定規に小石を付け加えて、天秤をつり合わせる考えと、たくさんある１円玉の数で重さを比べる考えの違いについて比べる。

問題意識をもたせる活動になっているか。

【手だて】

- ・ 単元導入数日前から、教室に天秤を置いておき、自由に触れることができるようにしておく。

【支援を要する子どもへの手だて】

- ・ 三角定規とペンの重さを１円玉の数で表すことができるように、三角定規は１円玉何枚でつり合うのか、実際に確かめる活動を設定し、「ペンは１円玉何枚でつり合うかな。」と尋ねる。

【手だて】

- ・ 重さも長さやかさと同様に、「同じもののいくつ分」で表せそうだと気付くことができるように、「どれだけ重いか」と尋ねる。

【振り返り】

例：どれだけ重いかを調べるときは、小石のように重さが違う物を探すより、１円玉のように同じ物を使って何個あるかを調べた方が簡単だとわかりました。「同じ物のいくつ分」という考えは、長さやかさでも使ったけど、それと同じだと思いました。いろいろな物の重さを量りたいです。

板書計画

授業構想シート（ 学校 年 ）【単元名】「 」(時間／全 時間)

■本単元のねらい



<本時のねらい> ※ めざす子どもの姿
○

【まとめ】 ※ <ねらい>を子どもの言葉で



【めあて】 ※ まとめとの整合性 子どもの言葉で



【めあて】を生み出す働きかけ

【追究する活動や働きかけ】主体的・対話的な学び
○
○
○

【手だて】
【支援を要する子どもへの手だて】
【手だて】



【振り返り】

板書計画